受 理 番 号	陳情第 6 号	受 理 年 月 日	平成 2 6 年 8 月 1 3 日
件 名	川内原発 1・2 号機再稼働同意に反対する陳情書		
陳 情 者	山之口自治会 会長 川畑 清明		
要 旨			
<p>私ども山之口自治会は、7月25日、自治会館にて「原子力防災計画及び広域避難計画等に関する出前講座」を開催した。25人の会員の参加を得たが、説明の内容は納得のいく実効性のあるものとはほど遠く、多くの問題点を残すものであった。「被曝なしの避難は想像できない」、「何十時間もかけて避難をしても、いつ帰れるのか」、「自分の身の回りの物を用意しろ、乗り合わせもしろは無謀だ」、「いざというとき、とても計画どおりにはいかない」等々の意見が多数出されたことをもとに、全52世帯を対象にアンケートを実施した。</p> <p>その結果、40世帯の回答があり、29世帯より本陳情を提出することへの賛成を得た。（賛成29、どちらでも良い2、反対5、無回答4）</p> <p>よってここに、山之口自治会として下記の事項を陳情する。</p>			
記			
<p>1 市長は、「避難計画を再稼働の条件とはしない」とされているが、市民の生命と財産を守る責任は一義的には市長にあるものの、二元代表制の下では議会も同様の責任がある。</p> <p>このことから、貴議会においては、全市民が納得できる避難計画が完成するまでは、再稼働に関する議決をしてはならない。</p> <p>2 川内原発1・2号機再稼働に係る諸々の判断は、福島第一原発事故の惨状を目の当たりにした今、立地自治体の範疇を超えた問題であり、全市民はもとより全県民的議論を時間をかけて実施し、全県民の多数意見をもとに議会は審議決定すべきである。</p>			